



改革概論(六)

第二編の 大内民恵 第一章 出發點 國力充實

第四一般的國民教育も相當進歩し他の雄邦に比して大して遜色はあらず(案者註)相當進歩はすれども徹底せざることも遜色あり(案者註)唯科學に至りては數ヶ國に比して學者が少ないけれども問もなく追ひ着くだらう、第五最大の弱點は産業の幼稚

國富の貧弱であるが此方面も極少數の反動を除いては殆んど全國民一致で此弱點を補はんとして今方に全速力で伸張しつゝある(案者註)されど現況に於て

休日 日曜大 一ヶ月二十五日 一週二十五日 一週二十五日

であらう(中略)亞細亞に於ては日本と支那が一致すべき關係でありながら之をなす日本、露西亞、支那三國の對立状態に入超過になつてゐることを加はり日本は全然孤立の地擧げて居ります而して其上位にある云々」と定に正に六十億の國債を有するを得た觀察をして居りますとは一般の周知する所でありから其別項に於て

平町の増築家屋 九十四萬八千圓 大町から月見町の發展振 新築された五一四棟 一萬五千八百十一坪

世を擧げて不景氣を唱ひら十圓とすれば實に九十四萬圓の中に平町に於ける新築八千六百六十圓の總工費に家屋のみは不思議なほどのなる譯であるが此の中の八増加であつて殊に宇南町裏割は前記大町から月見町一から大町を中心とする膨脹帯の増築である事實に徴し並に月見町片倉製糸工場附近も向後に於ける同方面の近的發展は 今素晴らしい勢ひで「のみ」や「かな」の響樂に來は過去を翻つて元警察署賑はされてゐる試みに昨年土橋通り一丁目の繁榮が春から最近までの平町の増二丁目に移り次に三丁目に築戸敷を上ぐるなれば總數變つて現在更に四丁目に五百十四戸この坪數一萬五移りつゝある 千八百十一坪で築建具を入れた大町の 見積りを一坪平均六

好價の見込がない 今年の春繭相場 買氣少しも引立たず 何れも形勢觀望の態

石城地方の春繭は愈も出廻樂館に於て同會定期總會を期に近づいて早きもの收開催昭和四年度の事業經過繭は既に百貫余と云はれて承認其他を附議の筈であるが最初の豫想以上低落が午後一時からは内務省衛を見てゐる先行き不安の生局高野博士及び恩賜財團爲め未だ全く取引を開始さ 濟生會囑託陸野三郎氏外諸 大家の講演があること。

片倉製糸の如きも 茲二週間位形勢を觀望する 模様であつて從來の活氣を 招來しないが四倉市場の取 引を開始する來る九日前に は何れかの地が問屋に於て 出走り初値を見るであらう 其の豫想價格は 優良品で 十貫目四 十七八圓を見當とされてゐるが一貫目の收繭に桑葉十 七貫目を要し之れに手間賃 及び蠶種代を算入する生産 費から本年の繭價が當分打 折くものとは養蠶家に大 改良を要するものであらうと 共濟病院の 定期總會 八日午前十時 平町樂樂館で 平町警署共濟會病院では來 八日午前十時から同町聚

大郵便局舎を中心として漸である南町の營業を新川の 次東と南に發展するであら 南田圃あたりに一括移轉さ うが此の邊からぬ將來を想 したものであると某有志 は語つてゐる。 脂粉たゞよふ夜の町

無錢飲食 謝金廿圓 酌婦逃走に 謝金廿圓

こと程左様に 不景氣は深刻 岩手縣和賀郡澤田村の大野 茨城縣那珂郡額田村の北郷 生れ當時住所不定無職大島 料理店鈴木かつ方酌婦同縣 機治(三)は去五日午後十時 頃平町警署簡易食堂北村と 島(二)は去四日午前三時

謝金廿圓 石城地方に入 り込んだ形跡 一斗の水に十五分(粉狀) を溶解しそれに八分の一 ガゼイン」石灰を混入す 「まくわ」しる」瓜及び 西瓜、冬瓜、扁蒲(ゆう がほ)の第一回の追肥に は反當下肥一〇〇貫、米 糠五貫を施し道根の追肥 は反當下肥一〇〇貫過燐 酸石灰四貫、鍊締粕二〇 貫が適當である。 ▲六月中旬 馬蹄薯の花蕾(はなつば み)摘除と追肥及土寄せ 花蕾を其まゝにして置く

く方に於てコップ酒一杯と 飯に肴を食した代金三十錢 前借二百二十圓を踏み倒し の會計となつて懐中無一文 逃走したが同人には豫ねて 地方に入り込みたる形跡あ のため支拂に困り驛前派出 馴染の年齢四十二才位髪を 所の厄介になつたが同人は オールバックにしたロイド附 現下の不景氣で職を求め得 ず仙臺市に三日間職を探し たが雇口がないため同市長 明から増田驛迄の切符で常 磐線上下に乗り込み平町まで 無錢乗車したもので前記食 堂の無錢飲食にも同情する 點があり單衣一枚を代償に 置いて福島炭礦方面に稼口 を得やうとして居るが近來の 不景氣が如何に深刻である かを裏書した一つで斯うし たもの、浪々には其筋でも 殆んど手をやいてゐる様だ 最後の 委員會で綠川喜三郎 氏の欠席する六名の満場一 致を以て第一案であつた西 線に決定したが其理由は第 二案たる東線は正門より一 出半東部に片よるもので西 線の正門より九間片よるも のに比し幾分の 体裁も、便利があるに しても結局は五十歩百歩で ぬから開花前に摘除する のがよい ナス、胡瓜、蕃瓜の施肥 と中耕及び土寄せ 蕃瓜の支柱立て 夏蒔の甘藍(キャベツ)の 播種、適當なる品種は豊 田早生、サダヤ、野崎中 生、オールヘットアール リ、パンダーゴー 秋蒔葱の定植、畦巾は二 尺五寸乃至三尺、株間は 四寸、深さ八寸位、元肥 には反當堆肥三〇〇貫、

西線に決定したる 第三校正門道路 工費減が二十圓以上 迂回は五十歩百歩

平町第三校正門道路の開あるのみならず東部線は從 設は同町土木委員間に意見來の作場道九尺を三間に擴 充し西線と東線の二派 巾する關係上潰地の承諾及 び分れて詮議の末現委員が び縣の許可を得るにも簡易 満期となる去月末に於ける である上に全然新設道路を 敷かうとする 東線の 工費豫算九千 八百十圓により二千八百五 圓を減少する七千七百二十 五圓で充分であると云ふに あつて本會議にも過半数の 賛成を得られるであらうと 委員側で語つてゐる。

六月栽培 の 蔬菜類 (二) ▲六月上旬 「まくわ」瓜、しる」瓜、西 瓜、南瓜等の瓜守(うり ばい)摘除には硫酸鉛溶 液を撒布する、硫酸鉛は

油粕一〇貫、米糠一〇貫 木灰二〇貫、下肥一〇〇 貫を施し一二寸覆土して 其上に植込む ▲六月下旬 冬期收獲用、洋食のフラ イの脇や「さしみ」の妻に するパセリーの播種期で ある、尚ほ本期には夏葱 「キャベツ」た「なな」を 收獲する又南瓜、西瓜の 敷葉を行はねばならぬ夫 れと馬蹄薯のコンブラ虫 驅除を怠つてはならぬ。



平町 市原醫院 田町

外科 小兒科 梅毒 淋病

電話 一四一

破格の勉強で 歡迎される

静岡本場 小笠原茶 大角園 約特

香深い新茶が着きました

半谷 商店 平大町若松病院隣

看護婦 急派の求めに應じます

平看護婦會 電話三〇七番

印刷物の御注文は 會川活版所へ

平町四丁目

入院應需 自炊の便あり

明雲堂眼科醫院 平驛前 電話六六九番

時計と修理の御用命は 精密修理の御用命

示時正確 大々的勉強

精幸堂時計店 平町土橋通り

初夏に アイスクリーム サロン

初めました一杯十五錢

樽詰生ビール並に タンク入ソーダ水

平町のソータファンテン 橋矢

コップ一杯 五十錢

ソーダ水 各種 十五錢

ごうぞ御散歩がてらに御来店を 美味で 平町田町 サロン 評判の 平町田町 サロン 平町の公休日に毎月第三日曜 電話三五二番

霜降小倉學生服特價提供

便利と・經濟を兼ねたる

小學生用	¥ 65
同 極上	¥ 95
中學生用	¥ 1.90
女 生 服	¥ 1.20
兒 童 服	¥ 1.00

モリタヤ洋品店 五丁目 電話三五三番

本の 冷 藏 器 丸

製造元 平町 電話三五九番

平町三丁目

豆と晒あん

北海道のよいお豆 純小豆製のよい晒あん

お電話なり下されば多少に拘らずお届申上げます。

田卷隆一商店 平町紺屋町十三・電九〇八

平屋洋品店

平町四町通 電話六五六番

ライト 寫真館

平町才植小路 電話八四七番

ガソリン モビール油 株式会社 日本石油 株式会社 特別販賣

油問屋 關内商店 支店 山形市 支店 郡山市 支店 平町大通 支店 茨城県 支店 關本縣前

電話 三三七番

恐怖時代の 動脈硬化症 豫防及治療新藥

アイヨール錠

試用二圓 中瓶六圓 大瓶廿圓

發賣以來 白熱的に 歡迎せらる

特約店 山野邊藥局 平町五丁目

國產 愛用

時計は信用ある精工舎 製品を

特約店 大谷時計病院 平町三丁目 電話十九番

生徒募集

公認 磐城自動車學校 (平町四軒町)

本校内容は先づ卒業生に聴け 本科一ヶ月五拾圓受験科一ヶ月參拾圓其他短期科夜學科あり學則送る

和洋金銀 質屋

價之低 質之高

良品廉價 弊店のモットー

平町五丁目 電話一九九番